

## 第 10 回「アザラシ型ロボット・パロによるロボット・セラピー研究会」

### The 10<sup>th</sup> International Symposium on Robot Therapy with Seal Robot, PARO

**日時**：2018年11月1日（木）10時から20時（9時30分開場）

**会場**：IKE Biz としま産業振興プラザ（〒171-0021 東京都豊島区西池袋 2-37-4）

**共催**：産業技術総合研究所人間情報研究部門、東京工業大学情報理工学院

アメリカ・マサチューセッツ工科大学高齢化研究所（AgeLab., MIT）

イギリス・オックスフォード大学高齢化研究所（Oxford Institute of Population Ageing）

東京都豊島区福祉総務課

IEEE RAS Technical Committee on Rehabilitation and Assistive Robotics

**参加費**：無料（懇親会は有料：2,000 円・事前申込みを受付）

**定員**：100名（先着順：ただし、希望者多数の場合には、医療福祉関係者でパロを既に活用している方や、今後、パロの活用を検討されている方を優先します）

**参加申込・各種問合せ**：産業技術総合研究所人間情報研究部門 植松育子

（電子メール）[ikuko.uematsu@aist.go.jp](mailto:ikuko.uematsu@aist.go.jp) （電話）029-862-6586

**内容**：セラピー用アザラシ型ロボット・パロについて、ロボット・セラピーの対象は、子供から高齢者まで様々である。第1回から第9回までに、認知症高齢者のケア・リハビリ、小児や青年を対象とした各種セラピー等について、様々な観点から発表がなされた。今回は、各種施設等でのパロの利用事例、セラピー効果のメカニズムに関する基礎実験、ランダム化比較試験による治験、複数の治験結果の分析の取り組み、岡山市での在宅介護でパロに介護保険を適用した長期的な実証実験の状況、米国の高齢者向け公的保険制度「メディケア」での保険適用等について発表し、向精神薬等の投薬を低減化する非薬物療法の重要性と合わせて意見交換を行う。特に、日本で認知症者向けの薬剤のコストを年間約2千億円低減できる可能性についても議論する。さらに、高齢者向け医療・福祉・健康分野で世界最高峰の「Ryman Prize」受賞について紹介する。



2018年10月12日「Ryman Prize」受賞

賞金 NZ\$250,000（約2千万円）

## プログラム：（講演者名）

（午前の部） 10：00－12：00

- ① （チュートリアル）柴田崇徳（産業技術総合研究所）：セラピー用ロボット・パロの研究開発と国内外の動向－その10（60分）
- ② （特別講演）Prof. Sandra Petersen（DNP, APRN, FNP-BC, GNP-BC, PMHNP-BE, FAANP, Univ. of Texas at Tyler）：PARO: An Important Solution for Symptom Control（逐次通訳：20分＋20分＋質疑応答 20分）

（ランチ：各自、会場近隣のレストラン等にて。多数有り）

（午後の部・1） 13：30－14：50

- ③ （招待講演）井上 薫（首都大学東京大学院・准教授&作業療法士）：Randomized Controlled Trialによって示されたパロの効果：文献レビュー（20分）
- ④ （基調講演）高柳和江（医師、医療法人社団葵会理事・介護老人保健施設葵の園・武蔵小杉施設長・一般社団法人癒しの環境研究会理事長・笑医塾塾長）：アザラシ型ロボット「パロ」の癒し効果の検証－科学的評価の試み－（40分）
- ⑤ （招待講演）永田あゆみ（介護老人保健施設シーダ・ウォーク）：介護老人保健施設におけるアザラシ型ロボット「パロ」のセラピー効果および認知機能改善の検証（20分）

（午後の部・2） 15：10－16：20

- ⑥ （招待講演）関口ゆかり（社会福祉法人シルヴァーウィング・特別養護老人ホーム新とみ・施設長）：未来に向けた新しいケアのありかた（20分）
- ⑦ （招待講演）中島悌吾（岡山市保健福祉局医療政策推進課・医療福祉戦略室・室長）：総合特区「岡山市介護機器貸与モデル事業」対象機器としてのパロに関する利用状況等の報告（20分）
- ⑧ （招待講演）堀 容子（ハッピーネット代表理事、前名古屋大学大学院医学系研究科・教授）：アザラシ型ロボット・パロによる認知症の薬剤費低減効果に関する推計値（30分）

（午後の部・3） 16：40－17：40

- ⑨ （招待講演）鈴木美智子（独立行政法人国立病院機構岩手病院）：重症心身障がい児・者へのパロ活用の可能性～パロをより効果的に活用するための取り組み～（20分）
- ⑩ （招待講演）堀 容子（ハッピーネット代表理事、前名古屋大学大学院医学系研究科・教授）：アザラシ型ロボット・パロによる介入効果に関する検討－健康な人々を対象とした予備研究の結果から（20分）
- ⑪ （招待講演）和田一義（首都大学東京・准教授）：高齢者施設における動物型ロボットを用いた効果的なケア実現のための調査の試み（20分）

18：00－20：00

- ⑫ 懇親会（ディスカッションのためのレセプション：参加費 2,000 円）